

学籍番号

氏名

コマンドプロンプトとバッチファイル No.3 の課題

課題 1. 環境変数 x, y に事前になんらかの文字列が入っているとき、

- (1) 「x=」という文字列と x の値、「y=」という文字列と y の値を表示し、
- (2) x, y の値を入れ替え、
- (3) (1) と同様の形式で x, y を表示するバッチファイルを書け。
(2) のヒント: 別の変数 z を使う。 z は不要になったら削除する。)

課題 2. 環境変数 x に事前に 1900 以上 2016 以下の整数が入っているとき、`set /a` を用いて環境変数 y に x の上 2 桁、 z に x の下 2 桁を代入して、 y と z の値を表示するバッチファイルを書け。なお、4 節の文字列処理は用いず、割り算の商と余りを利用すること。

課題 3. 実行する度に、 -9 から 9 までの整数をランダムに (ほぼ均等に) 表示するバッチファイルを書け。

学籍番号

氏名

コマンドプロンプトとバッチファイル No.3 の課題

課題 4. 動的環境変数 %date% の値から、西暦 (4 桁) を環境変数 year に、月 (00 ~ 12) を環境変数 month に、日 (00 ~ 31) を環境変数 day に保存し、それらを利用して今日の日付を「2016 年 (平成 28 年) 05 月 06 日」のように表示するバッチファイルを書け。

課題 5. 実行する度に、ランダムに 0.000 から 0.999 の間の実数 (小数以下 3 桁) を一つ表示するバッチファイルを書け。(ヒント: 0 以上 9 以下の乱数を 3 個使用すればよい。)

課題 6. 環境変数 x に事前に 0 以上 728 ($= 9^3 - 1$) 以下の整数が入っているとき、それを 9 進数に直して、例えば x が 251 なら (308)₉ として表示するバッチファイルを書け。(ヒント: 9 進数の各桁の数字は割り算の商と余りで求めればよいし、出力は 0 から始まってもよい。)